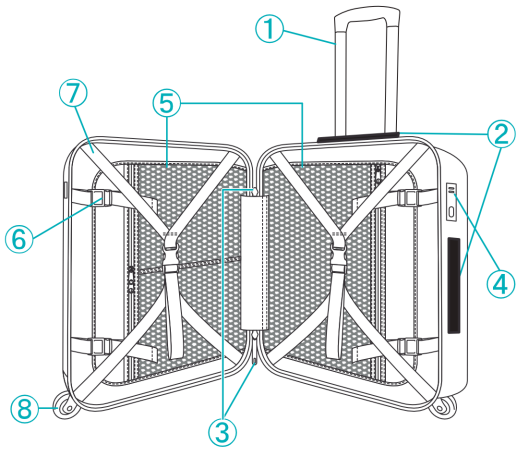
取り扱い説明書

この度は、当製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます
当製品をご使用になる前にお読み頂き、正しくご利用いただきますようお願い致します。

当製品は衣類やその他荷物を収納し、運搬する事を目的としています。人や動物等がその中に入る事や、当製品を遊具や踏み台として使うなど、本製品のもつ目的以外に使用することは重大な事故などにつながる恐れがあります。危険を伴う恐れのある一切の使用方法は避けてください。
当製品をご旅行以外の目的、または誤った使い方、或いは製品の改造によって生じた「ケガ」、「破損・損害」に対しては責任を負いかねます。

各部の名称と主なはたらき



※製品によっては仕様が異なる場合もございます。

①キャリーハンドル
高さを調整し、キャスターを使って走行するときに使います。

②本体ハンドル

③ジッパー引手
本体の開閉と施錠にご使用ください。

④ロック
蓋を閉め、ジッパー引手をホルダに差し込んだ状態で施錠出来ます。

⑤中仕切り
内容物の荷崩れを抑えます。※仕切りが無い製品やファスナーの仕切りの製品もございます

⑥中仕切り留め具
中仕切りをジッパーに挟まないように固定させます。
＊内容物が多い場合は無理に仕切りの留め具をフックに掛けないで下さい。

⑦クロスベルト
荷物に中仕切りをかぶせ、その上からクロスベルトで固定させます。（荷物の多い場合）

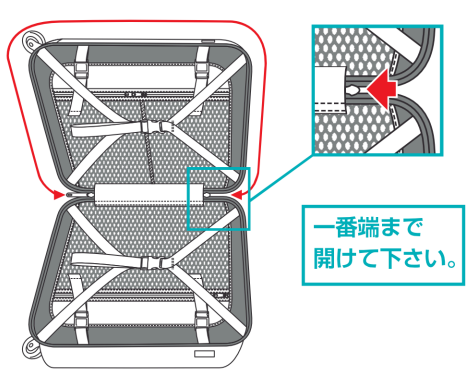
⑧キャスター

Z-25-01

ご使用上の注意

■安全にご使用頂くために

1.当製品は人や動物・生き物を収納するためのものではありません。
2.腰掛や遊具や踏み台として使わないでください。
3.傾斜のある場所や電車内などの揺れ振動が発生する場所ではケースが不用意に動く可能性があります、ヨコ位置または寝かして置くなど十分にご注意下さい
4.棚など落下する可能性がある場所ではスーツケースを固定するなど、十分に注意をはらって下さい。
5.ケースの開閉時は手や内容物・衣類をかみ合わせ部分で挟まないようご注意下さい。ケガや内容物およびケース本体の破損につながります。
6.キャリーハンドルを本体に収納する際にハンドルと本体間に指を挟まないようにご注意下さい。
7.キャリーハンドルは走行時にけん引することを目的とした設計になっています。キャリーハンドルを使用しての荷物の上げ下ろしはキャリーハンドルの破損の原因となりますのでご注意下さい。
8.連続走行した直後はキャスターが熱を持っている場合があり、火傷をする恐れがあるため触れないで下さい。
9.段差や階段などでの落下は重大なケガや事故につながる可能性があるためお取り扱いに十分にご注意下さい。
10.スーツケースの走行時には、周囲の人や物に十分にご注意下さい。思わぬ事故の恐れがあります。



本体を開ける際は、
必ずファスナーを「全開」にした状態でお取扱い下さい。
ファスナー自体に過度の負担がかかり、破損、もしくは使用不可能な状態になる事もございます。

■スーツケースを快適に使用して頂くために

1. 変形・変色・機能低下の恐れがあるため、火気・高温度や薬品（シンナー・ベンジン・強い酸性や塩基の物質）のそばにスーツケースを置かないで下さい。
2. 航空会社によって機内持ち込みや預け入れ、重量の基準・制限が異なるため、事前にご利用になる航空会社の規定をご確認下さい。
3. 段差などでキャリーハンドルを持ち上げて持ち運びすると破損しやすいため、ハンドルを使用してください。
4. 小型タイプの場合、キャリーハンドルを一番上の段階にしてから、降ろしながら調整して下さい。
5. キャスターの車軸に砂やほこりや糸くずが付着、巻き込むと破損の原因になりますので取り除いて下さい。

■荷物を詰める際のご注意

1. 当製品は現金や貴重品の保護を目的とはしていません。盗難紛失等についてはお客様の自己管理にて防いで頂きますようお願い致します。
2. 内容物の保護を目的としていないため、破損や汚れの原因となる恐れのなるガラス瓶やその他の破損しやすいものの収納には十分ご注意下さい。
3. 防水加工では無いため、水中及び雨の中、高湿度の場所には置かないで下さい。破損につながる恐れがあります。
5. 荷物を詰め込み過ぎないでください。荷物の詰め過ぎは破損の原因となりますのでご注意下さい。

A 4輪で押して運搬

B 後輪2輪で引いて運搬

他の通行人との接触や衝突も増えております。充分にご注意ください。

・当製品はキャスターを使用し、4輪で押して運搬する（A）、または後輪2輪で引いて運搬する(B)事を想定して設計されています。

C 横向きで2輪で引いて運搬

ファスナーやフレーム本体にダメージの可能性

D 前面側の2輪で引いて運搬

本体やキャスター部分にダメージの可能性

E キャリーバーを伸ばしすぎた状態で後輪2輪で引いて運搬

本体やキャスター部分にダメージの可能性

左図のように、横向きで2輪で引いて運搬する（C）前面側の2輪で引いて運搬する（D）キャリーハンドルを伸ばしすぎた状態で後輪2輪で引いて運搬する（E）など、想定外の運搬方法を行うとケースの破損や思わぬ事故等につながる恐れがあります。

■スーツケースの修理などお問合せについて

・修理品はお客様相談センターまでご連絡の上、指定の住所にお送りください。

お問い合わせ先
株式会社スカイル サービスセンター
TEL:03-3834-5593
住所：〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-7-5

SKYL
株式会社スカイル

修理の流れ

（お客様より発送）　（弊社より発送）

ご購入 → ご使用 → 万が一破損した場合 → 修理依頼 → 修理センターでの修理 → お客様修理完了品のお受け取り

（送料お客様ご負担）　（送料弊社負担）

・万が一、商品に不具合がございましたら、ご使用になる前にお買い求めになりました販売店、またはお客様センターまでご連絡ください。
・修理・返品の際、ケース内が空であることをお確かめください。万が一、お客様の所持品が入っていた場合でも、紛失・破損等の保証はいたしかねます。
・航空会社に預けられた手荷物が運送中に破損した場合は、弊社の保証対象外となり、航空会社の管轄となります。手荷物の受領後すみやかにご利用の航空会社にご相談下さい。ご帰宅後に手荷物破損の申告をした場合、補償を受けられない場合がございますのでご注意ください。
・旅行傷害保険などにご加入のお客様につきましては、破損などがあった場合（故意による破損、または擦り傷、汚れなどは対象になりません）加入保険会社にご相談ください。
・お買い上げの際のレシートは、商品の修理に必要になる場合がありますので、大切に保管してください。
・破損した商品を破棄した場合は保証期間内であっても返品・返金はお受けできませんのでご了承下さい
・商品の修理対応については、日本国内のみの対応となっております。海外からの修理の受け取り、発送は出来ませんので、恐れ入りますが日本国内よりご依頼お願い致します。

空港などでケースに破損が確認された場合、ご利用になられました航空会社のカウンターで『破損証明書』を受け取り、係員にご相談ください。